※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(学) 英語文法演習 B	1	第３年次 後期	Grammar Collection Full Version

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次までに身につけた英文法知識の定着を、集中的・体系的に図ります。
授業だけでなく予習・復習を大切にし、確実な定着を目指しましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第 3 学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	文法ポイントが含まれる英文を聞いて、意味や文法などを正しく理解することができる。	文法ポイントが含まれる英文を読んで、意味や文法などを正しく理解することができる。	文法ポイントが含まれる英文を意味や文法などを正しく理解して話すことができる。	指定された文法事項を用いて即興で話すことができる。	指定された文法事項を用いて目的に応じて、簡潔に書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○実践的な英文法の応用力を身につける。	○英語や日本語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、英文法の知識を正しく運用することができる。	○英語や日本語で聞いたり読んだりしたことを活用して、正しい英文法の知識に基づいて英語で表現しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th>学期</th><th>課
“題材名”</th><th>領域</th><th colspan="2">評価規準</th></tr>
<tr><td rowspan="6">後
期</td><td rowspan="4">第4章 仮定法
第5章 不定詞
第6章 動名詞
第7章 分詞
第10章 関係詞
第11章 接続詞</td><td>聞くこと</td><td>a: 本文の文法事項を正確に理解することができる。
b: 文法事項に注意しながら、必要な情報を聞き取っている。
c: 文法事項に注意しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。</td><td rowspan="4">定期考査
小テスト
中テストなど</td></tr>
<tr><td>読むこと</td><td>a: 本文の文法事項を正確に理解し読むことができる。
b: 文法事項に注意しながら、文を理解している。
c: 文法事項に注意しながら、文を理解しようとしている。</td></tr>
<tr><td>話すこと
（やり取り）
話すこと（発表）</td><td>a: 本文の文法事項を正確に理解し話し分けることができる。
b: 本文の文法事項を用いて適切な文で話している。
c: 本文の文法事項を用いて適切な文で話そうとしている。</td></tr>
<tr><td>書くこと</td><td>a: 本文の文法事項を正確に理解し書き分けることができる。
b: 本文の文法事項を用いて適切な文を書いている。
c: 本文の文法事項を用いて適切な文を書こうとしている。</td></tr>
<tr><td colspan="4">最終考査</td></tr>
<tr><td rowspan="4">第12章 前置詞
第15章 比較
第18章主語と述語動詞の一致
第19章 疑問文
第20章否定・倒置・省略・強調</td><td>聞くこと</td><td>a: 本文の文法事項を正確に理解することができる。
b: 文法事項に注意しながら、必要な情報を聞き取っている。
c: 文法事項に注意しながら、必要な情報を聞き取ろうとしている。</td><td rowspan="4">定期考査
小テスト
中テストなど</td></tr>
<tr><td>読むこと</td><td>a: 本文の文法事項を正確に理解し読むことができる。
b: 文法事項に注意しながら、文を理解している。
c: 文法事項に注意しながら、文を理解しようとしている。</td></tr>
<tr><td>話すこと
（やり取り）
話すこと（発表）</td><td>a: 本文の文法事項を正確に理解し話し分けることができる。
b: 本文の文法事項を用いて適切な文で話している。
c: 本文の文法事項を用いて適切な文で話そうとしている。</td></tr>
<tr><td>書くこと</td><td>a: 本文の文法事項を正確に理解し書き分けることができる。
b: 本文の文法事項を用いて適切な文を書いている。
c: 本文の文法事項を用いて適切な文を書こうとしている。</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度